

1月のビオトープ

1月 新学期を迎え、子どもたちの声もどって来ました。冬の休みの間も水が調子よく流れていました。去年は、乾燥から水位が下がって、心配していたことを思い出しています。防水シートの耐久年数は超えているのですが一定量の水の管理ですんでいるのは不思議なくらいです。植物の根がはって池の壁面を守っているのでしょうか。ビオトープの植物たちは、その根を池の底深くに下ろしていることは確かだと思います。

ビオトープの植物たちは、今、池の底でその葉を広げていたり、種を残したりと、植性に応じた冬越しの様子を見ることができます。

上の池に生息しているガマの穂は、その実をはじかせ種を飛ばしていました。ガマの穂をむくと、わき上がる雲のようにフワフワになってその量を増やしていました。中にはすでに、池に落ちて浮かんでいるものもありました。

子どもたちの1月の定点観察はその実をとることに夢中になっていました。あまりにも多くて、アレルギーが起きたり、目に入ったりしないようにと思い、一齐にその穂をハサミで摘み取りました。タンポポの種のようなガマの小さな種からこんな大きな植物に成長するとは思えませんね。



4月の芽吹きまで水の底でじっと耐える植物の様子をみると、「がんばれ」と応援したくなります。

水位が心配な4月です。ビオトープができて、4年目になります。そろそろ大がかりな整備面のメンテナンスをしなければと思っています。